



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花便り

No.34 (2015年1月 新年号)



<平成26年度初級園芸福祉士養成講座 in ふくおか 受講生作品より>

目次

年頭のご挨拶	2
多くの楽しさを伝える	2
スポンサー花壇に参加して	3
スポンサー花壇(テラス花壇) 警固公園に参加して	4
色々な学校で花育活動	5

初級園芸福祉士養成講座を終えて	6
2月役員会・定例会・庭作業日変更	7
宇美町でのハーブガーデンの紹介	8
花活講習会視察研修に参加して	11
ポール・スミザー講演会に参加して	12
事務局からのお知らせ	13

年頭のご挨拶

代表 谷口 博隆

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、幸多き初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

去年は、台風や竜巻、御嶽山などの火山噴火、集中豪雨による土砂災害、豪雪などによって、多くの尊い命が犠牲になる惨事が多発し、心が痛むことの多い年でございました。

今年も未年、自然も地球も穏やかで人々が安心して暮らせる安寧な年であって欲しいと切に願うものであります。



開運桜：宮地嶽神社

美しい花や美味しい野菜、香るハーブ、公園や街路の緑、野山の自然のみどりなどなど、私たちは常日頃色々な場面で植物とのかかわりを持って、愛でる、触れる、味わう、加工するなどの工夫を凝らし、日々の生活に取り入れることで心が和み、気持ちが癒され、脳が活性化されることにより健康に導かれています。

園芸福祉の活動を実施する際には、対象者への心配り、植物の特性を把握しているか、説明内容は適法か、対象者が容易に理解できるか、理論・技術的な誤りはないか、言葉使いや態度に留意することなどを心がけることにより信頼されてリピートを生み、活動範囲が広がっていくと考えます。

植物を介して園芸福祉的効果効用を活用することで、より幸せな心で、健やかな日々を楽しく過ごすことが出来るように、みんなで力を合わせて広めていきたいと願っています。

私たち園芸福祉ふくおかネットの会員はプライドを持って、多くの場面での対応が可能な能力を身に着けることが肝要です。そのために今年はスキルアップを目標に掲げて多くを学ぶ機会を設け、新たな事業展開を模索し、より魅力ある組織づくりを目指しますが、目標を達成するためには皆様のご理解とご協力が不可欠です。未年の年頭にあたり、みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、園芸福祉ふくおかネットをどうぞ宜しく願い申し上げます。



多くの楽しさを伝える

松藤 真貴

私は、毎年秋に福岡市で開催される緑化推進行事「グリップキャンペーン」に、園芸福祉ふくおかネットの会員として参加しています。今回は、卵の殻に小さな多肉植物を植える体験講座「緑のミニぷらんこ」のスタッフとして参加しました。これ自体とても楽しい体験だったのですが、休憩時間を利用して参加した他団体の体験講座の感想を書きたく思います。会場内を散策していると、ある寄せ植えに目を引かれました。それは、小さな透明の容器にカラーサンドを使ったものです。普段よく見る寄せ植えは、植物と土、そして陶器などの器が多く使われてい

ます。土と器の落ち着いた色合いに緑が映える、そういう「天然素材」のイメージですが、土の代わりにピンクや黄色などのカラーサンド、そして透明のポット、それは子ども達が喜びそうな、楽しそうな感じのものでした。また、これはオフィスの机の上や、お客様をお迎えする場所に飾ると似合いそうな感じでしたので、このカラーサンドを使った寄せ植えづくりに私も挑戦してみました。

まずは素材である植物選び、どの植物がかわいいかなーと、あれやこれや考えるのも楽しかったのですが、考えこんでいる内に他の人が次々と植物を選び、良い素材がなくなってしまうので、ちょっと慌ててしまいました。それでも気に入った何本かを選び、出来上がりをイメージしてみました。イメージが固まったところで、ガラスの容器にカラーサンドを入れて植えこんでみました。うーん、どうかな・・・とっていると、指導している方から、「もう少し、カラーサンドを多めに入れて、植物を持ち上げたら？」とアドバイスを頂いたのです。その通りにやってみると、びっくり！！印象が変わって動きが出て、まとまり感も出てきました。



カラーサンド作品のサンプル

センスのある方のアドバイスって、本当にちょっとした事ですが的を得ています。羨ましいです。私もその場その場で適切なアドバイスが出来るようになればいいなーって思います。そうすれば、一人でも多くのご来場のみなさまに園芸の楽しさや面白さを伝えることが出来ます。来年はご来場の方々に、より多くの楽しさを伝えることができるように頑張ろうと思いました。

今回私が作った黄色のカラーサンドの寄せ植えは、会社の人にプレゼントしました。とても喜んでいただけたのでうれしかったです。



スポンサー花壇に参加して

米倉治美

「天神の花壇デザイン研修をしますので、参加しませんか」と、福岡市緑のまちづくり協会・安重さんからお誘いの電話。趣旨内容は分からないが「面白そう」と即決で参加をOKした。

しかし、いつもの調子で気軽に引き受けたことを後悔することになる。9月1日スポンサー花壇第1回目の打ち合わせ会議。「市役所前」、「天神交差点三ヶ所」、「警固公園」等の花壇を花栗美百合先生の指導で、緑のコーディネーター8名が担当別にデザインする旨の事業説明を聞く。私は天神交差点パルコ前を一人で担当することになった。①どんな花壇にするのかテーマを決める。②デザインのイメージづくり。③春夏秋冬の植栽選び。三人寄れば文殊の知恵も出るが・・・、相

談する仲間がいないのはキツイ！私が描いたデザインで、企業協賛が左右されるのかと思うとプレッシャーが重くのしかかる。

深夜一人デザインを描いてはニラメッコの数日が続く、自分との戦いだった。研修会議の度に、次々と宿題が出る。平面だの、断面だの etc・・・。専門的なことを言われても、素人の私にはチンプンカンプン。しかし、ここで、できませんとは言えない。何とかして図面を描くしかない。



誰に花壇を見てほしい！のか想像した。①私が担当する花壇は車道からと歩道からの二面から見る花壇。②天神にはどんな人たちが集まってくるのか。オフィス街、ショッピング街でもある。『車イスの人、視覚障がい者の人に季節の花を楽しんでほしい』。色、香り、感触が楽しめる植物を選んだ。

これは園芸福祉を学んだから気づけたのだと感謝!! 11月末クリスマス・イルミネーションに照らされる天神の街に私の苦戦した花壇が完成した。植え込みは深夜ということで、業者の作業に立ち会うことは叶わなかったが、福岡市街に『園芸福祉の視点』を取り入れた花壇をつくることができた達成感は大きい。

これは園芸福祉を学んだから気づけたのだと感謝!! 11月末クリスマス・イルミネーションに照らされる天神の街に私の苦戦した花壇が完成した。植え込みは深夜ということで、業者の作業に立ち会うことは叶わなかったが、福岡市街に『園芸福祉の視点』を取り入れた花壇をつくることができた達成感は大きい。

貴重な機会を頂いた福岡市緑のまちづくり協会に感謝します。

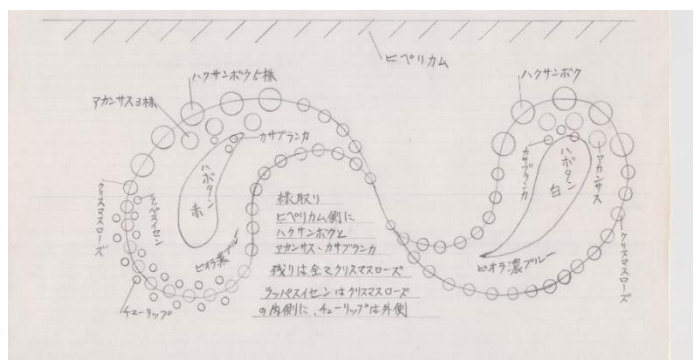
今年も声をかけていただいたら、気軽に YES と言おう！

スポンサー花壇（テラス花壇）警固公園に参加して

井上 妙子

昨年の8月、中央区天神にある警固神社の横の出入口側約 50 m²で花壇づくりのお手伝いをと、石井康子先生よりスポンサー花壇について電話がありました。暑さと眠気でボーっとしていたのですが、いっぺんに目が覚めました。9月より警固公園3名、福岡市役所前2名、天神交差点パルコ前1名、天神ビル前1名、三菱 UFJ 銀行前1名の計8名が毎週花栗先生より指導を受けました。警固公園は石井先生を中心に私と黒川さん（後に仕事の都合でリタイヤ）が補助する形で進みました。この花壇のコンセプトは、①防災の拠点 ②歴史的なもの、鎮守の杜のある公園 ③ランドマーク的なものがある公園 ④「和」と

「洋」の融合、とに決まり、花栗先生も一緒に何度も現地に行き、円形花壇が7つ出来るデザインで進めて行きましたが、5回目の発表会の時に円形よりボーダー花壇をとの要望がありました。10月6日最終花壇構造決定協議時にスポンサーが2件、花壇の広さが1件10 m²に縮小、出入口を挟



んで右側が警固神社、左側がJTたばこ産業と決まり、デザインは直線的なボーダーより線に変化があった方が良いと言うことで、花栗先生、石井先生共に考えて頂いたのが、神社にゆかりのある「勾玉（まがたま）」でした。10月29日「花栗先生のお宅へアドバイスを享けに行く」と石井先生から言われ、同行させて頂きました。そして決まったのが、低木はショウキウツギ、地被類はハクサンボク・アカンサス・クリスマスローズ・カサブランカ、花苗（年3回植え替え）は、ミニハボタン・ビオラ・チューリップ・ラップスイセンです。植栽は11月26日夜中にパルコ前を、引き続き午前8時より警固公園をと業者の方たちは徹夜で作業をされました。実はこの植栽に際しては、アカンサスが入手できないので春まで待つとのことでした。それで園芸福祉仲間の田主丸の九州農園栗木様に問い合わせしましたところ見事に探してくださいました。おかげで無事植栽を完了することが出来ました。私は、



花たちが無事に大きく育ち、きれいに咲いてくれますようにとの願いから警固神社に合掌礼拝致しました。

今回の花壇づくりに参加して、貴重な経験をさせて頂き、多くを学ぶことが出来たことに感謝いたします。ありがとうございました。



色々な学校で花育活動

— 子どもたちの笑顔が見たい —

栗木トシ子

花あふれるふくおか推進協議会の支援を受けて、園芸福祉ふくおかネットで2010年から「花育活動」を行なっていますが、私は久留米市内の学校で当初から関わり、今年度は久留米市立水分小学校で実施しました。小学校や特別支援学校など、色々な学校に、この花育活動を知って戴こう、そして子ども達の笑顔が見たいとの思いから、今回は水分小学校へ行って来ました。

水分小学校は、全校生徒100名足らずの小学校ですが、子どもたちは元気が良く、挨拶もよくでき、気軽に話しかけてくれるとっても感じの良い学校でした。教頭先生は「花の絶えない学校です」とおっしゃいました。

11月4日の花育実施日まで、打ち合わせなどで学校へ数回足を運びました。当日は環境ボランティアの生徒5名、先生4名と他に2名の方で、プランターに土を入れて花植えの準備をされていました。私はパンジーやビオラの苗、チューリップの球根を持ちこみました。

植え込み作業のはじめに全員自己紹介をして、花の植え方を説明し、花の配色は子ども達に任せました。チューリップの球根は全校生徒が1個ずつ花壇に植えこみました。終わってみると、とてもきれいな色どりで植え込まれ、素敵に出来上がりました。

「花に声をかけ、命の大切さ、園芸は楽しいです。」などの話しをして終わりました。

春には色々な花が顔を出します。咲いた花を見た時のみんなの喜ぶ顔が目には浮かびます。「きれいに咲きました」とニコニコ顔で言ってくれると思っています。

どこの学校も花育活動を通して、命の大切さ、仲間づくりの大切さ、花を育てる面白さを子どもたちが体感し、成長してくれることが私の願いです。

今、水分小学校では、色々な行事がありますので、地域の方々がたくさん訪れます。花を見て、花壇を見て「きれいネ」「頑張っているネ」と言ってくださっていることでしょう。

これからも子どもたちといっぱい出会い、私も元気をもらいながら頑張ります。子どもたちに負けないように皆さんも……。

初級園芸福祉士養成講座を終えて

黒瀬 恵子

昨年、11月15日(土)・16日(日)、11月29日(土)・30日(日)の4日間、アイランドシティ中央公園で初級園芸福祉士養成講座が開催され、17名の方が受講されました。

養成講座の開催は、園芸福祉ふくおかネットにとって実に4年ぶりのことで、今回、私は開催事務局として受講者への対応や普及協会との連絡、モデルガーデンや園芸福祉活動プログラムの実習材料の準備や講座の進行、また日本園芸福祉普及協会の理事として、受講者の方へ修了証書の授与もさせていただきました。



色々と慣れないことに苦

労もしましたが、講座を終えた受講者の方から「受講して良かった。こんな講座が受けたかった。」「2月の認定試験に合格したら、ぜひ、園芸福祉ふくおかネットに入会させてください。」など、本当に嬉しい言葉をいただきました。



テーマごとにグループで発表



修了証書授与



雨にも負けずモデル花壇が見事に完成しました



2月14日に行われる全国一斉の初級園芸福祉士認定試験に受講者の皆さんが合格され、私たちと一緒に活動される日を楽しみにしています。

そのためにも私たち会員が、「園芸福祉ふくおかネット」をより魅力ある団体にしていきたいですね。

2月度 役員会、定例会及び園芸福祉の庭作業日時の変更のお知らせ

- ☆ 2月21日土曜日の10時から役員会をアイランドシティ中央公園のぐりんぐりんで行います。
- ☆ 13時から定例会もアイランドシティ中央公園ぐりんぐりんで行います。
- ☆ 15時から園芸福祉の庭の管理作業を行います。

以上変更のお知らせです。

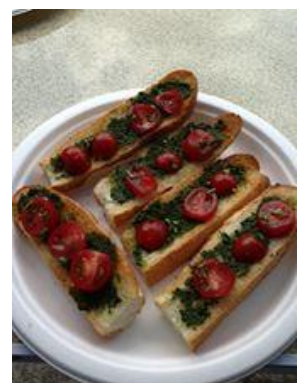
お間違えのないようにご参加お願いします。



宇美町でのハーブガーデンの紹介

米倉 治美

NPO 団体グラウンドワーク福岡と関わっていくうちに、同団体スタッフ藤木国治さんから「我が家に休耕田あるので見に来ませんか?」と言われ、出かけたのが始まりです(笑)。住宅に囲まれた 300 坪の畑を見て「ハーブガーデンをつくりたい」と夢物語を言い放った私の一言で、昨年 2014 年 6 月活動がスタート。宇美町の耕作放棄地を活用して「地域のコミュニティ・ハーブガーデンをつくろう」と、異年齢・異業種の仲間たちが集まって、夢を形にするワークショップを展開中!まだまだ進行形ですが活動報告をします。



昼食は地主さんの庭でバーベ Q。 満腹後は『世界で一つの私だけの椅子作り』。大満足の笑顔イエィ~!

2014 年 6 月 畝にマルチを張りミニトマト、バジル、マリーゴールドを植えてキッチンガーデン完成!!



7月



福岡市南区にある自転車の「正屋」さんが、ハーブガーデン・ツーリングクラブを結成、仲間と共に参加してくれました。(http://www.masaya.com/)

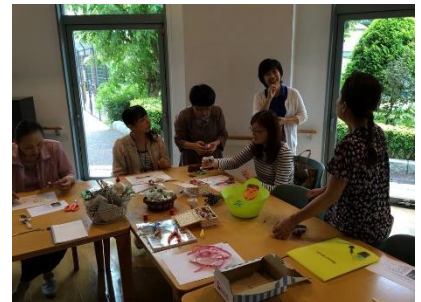
以前会合に参加させていただいた箱崎のまちづくり放談会の方も参加して一気に大勢に。今回は男性、女性2つのグループに分かれて活動開始。女性はバジル、ローズマリー、イタリアンパセリなどの収穫と人参の種まき。男性はハーブガーデンの図面をもとに畑に紐で割り付け作業。少しずつガーデンのイメージがわい

てきました。

8月



誰が参加者で、誰がスタッフか、わからない!?!「宇美町ハーブガーデン・ワークショップ」。ここが良いところ?!かな(笑)。ハーブは剪定を兼ね収穫をして、お土産に。仮植えのハーブ周辺の除草。木のチップでマルチングをすると見違えるほどガーデンらしくなりました。



9月

宇美ハーブガーデン・ワークショップも今回で4回目。数日前に草刈りをした草の除去作業からはじまりトラクターで耕うん。畝にハーブ苗・ステビア、レモングラス、ラベンダーなどを定植。昼食は移動販売のカレーショップ登場!!(事前に打ち合わせ)驚きでみんなの疲れがぶっ飛んだ! 畑で収穫したレモンバームをカレーにトッピング。宇美町ハーブガーデン・オリジナル特製カレーライスはおかわり続出で大好評。デザートはローゼルジャムをかけたかき氷は、美味しかった!!



10月

枯れ草を集めて野焼きからはじまり、同時に人参、バジル、水菜、ローゼルの収穫。野焼きが終われば、花壇作り、トラクターによる耕うん作業と畝立て作業。収穫作業班はそのまま収穫物を持って近所の集会場で昼食のしたく。昼食後はローゼルのジャム



づくり。さらにジャム作りがひと段落するとワイルドストロベリーをレイズドベッド(立ち上がり花壇)へ移植。最後はラベンダーの植え付け。200株が成長したら壮観でしょう。



11月

少しずつ集めてきた素材を使って和・洋折衷の花壇が一つできました。ガーデンの完成はまだ遠いけど「これからのんびりと少しずつ作って行きましょう」と集まった仲間たちと気持ちを一つにして、本日の作業終了。



手前のレイズドベッド(立ち上がり花壇)で、ワイルドストロベリーが元気に育っています。五月頃にはイチゴが実る予定です。

12月



ここ数カ月で、やっと宇美町ハーブガーデンの形が見えて? きたかな。ガーデン入口に水仙(芳香)、ムスカリの球根を植え、ラベンダーとアリッサムで曲線を描きました。春が楽しみです。子ども病院のボランティア仲間からいただいたヒガンバナの球根はガーデンの縁に植えました。田畑が広がる故郷の原風景にヒガンバナは馴染みます。

サークルのシンボルツリーは丸葉ユーカリ、周りにはムスカリとアリッサムを植えました。



毎月第3日曜日 午前10時～

参加費無料! お気軽にご参加ください。

お問い合わせ / 090-3417-5662 米倉

活動の様子は下記のホームページからも見ることができます。

<http://green-caravan.jp/>

花活講習会視察研修に参加して

黒瀬 恵子

1月15日（木）、広島市の社会福祉法人ナーガ保育園で行なわれた花活講習会に、谷口代表、栗木副代表、米倉幹事、そして黒瀬の4名で視察研修に行き来しました。

この「花活講習会」は、(※) 農林水産省の国産花きイノベーション補助事業を受けて“花で暮らしを活性化（花活）”ことを目的とし、広島県と広島の花き業界が「広島花きイノベーション事業推進協議会」を今年4月に設立し、「園芸福祉講習会」として、広島県内の介護施設や小学校など、全20会場で行なっているものです。

「イレカエール」と言う、誰にでも簡単に美しく仕上げることができるグッズを使用して、フラワーアレンジメントや、苗のアレンジで脳を活性化し、園芸福祉の啓発と花のまちづくり、心身の健康増進を目指すことを目的としているそうです。

昨年、初級園芸福祉士養成講座の講師として来られた高松先生からこのお話を伺い、「ぜひ一度私たちも見学させていただきたい」ということを伝え、「ひろしまね園芸福祉協会」の事務局をされている進藤さんを通して広島まで行くことになりました。

博多駅6時33分発の新幹線に乗ると言う、私にとってはかなりハードルの高いスケジュールでしたが、思いがけず貴重な体験もできて有意義な研修になりました。



花材を事前にカットします

というのも、私たちは見学だけのつもりでしたが、当日スタッフの方が1名風邪で欠席されたということで、急遽、材料の調整から運び込み、実習の補助まで一連の流れを実践させていただくことが出来ました。講習会は、園児35名のクラスが2クラスで、講師、スタッフも2クラスに分かれ同時進行で行なわれました。実習内容は、○や△、□などの印のある9cmサイズの給水スポンジに、印の通りにカーネーションやキクなどの花材を挿してアレンジメントを作り、4個穴のある「イレカエール」というフレーム型のグッズに出来上がったアレンジメントを1個と9cmポットの葉物（根付き）を3個入れて完成させるものでした。60分の講習時間内に、講師は園児の心を掴みながら笑顔で指導に当たります。

作品を完成させ、最後のアンケートで「楽しかった人」の講師からの問いかけに「はい」と元気良く一斉に手を挙げる園児たちは、とても満足そうでした。

朝4時半起きという慣れないこともしましたが、思いがけず一連の流れを実践させていただき、学ぶことの多かった研修になりました。

今回の視察研修で学んだことを今後の私たちの活動に活かしていけるよう努力していきたいと思えます。

ポール・スミザー講演会に参加して

谷口 博隆

1月24日東区和白のコミセン和白で開催された「ポール・スミザー講演会」に園芸福祉ふくおかネットの黒瀬副代表と米倉幹事、山崎相談役、井上さん達と行きました。ポール・スミザー氏はNHK TVに出演してある影響でしょう、会場には顔見知りの方が何人も来てあり、遠く本州各地からも聴きにいられているとかで会場は満員でした。主催者は、数年ポール氏の下でアシスタントをされていた安元まことさん。宗像市で「植物と人 雨の杜」の経営をされている方です。会場で100冊限定販売の本「ナチュラルガーデンをつくろう！地元の素材で美しい風景を」を購入するとサインしてもらえらるので、中身も見らずに購入、大きな目玉のカエルのサインをもらって握手を、私の手も小さくはないのですがポール氏の手は一回り大きい！背も高い！ステージで身振り手振りを交え、ユーモアたっぷりの軽妙な日本語のトークは笑いを誘い、みなさん声を出して笑ってとっても楽しんである。



ポール氏を囲んでスマイル！

ナチュラルガーデンって何だろう、彼は植える場所をよく観察してその場所に合う植物を選ぶことが基本だと。陽当たりはどうか、土の乾湿状態は、水はけは、風は、そこにある自然がマニュアル、その場所にあった植物の選定などなど環境を見極めたプランを持った庭とのこと。その土地らしさや季節の変化を楽しめるように、将来の景色を考え株間を回りながら植込むことなどが大切と。自然を表現した庭だからと言ってほったらかしではダメ、肥料や農薬はほとんど使わないでも育つようにストレスの少ない植え込みと管理、その土地らしさを大切にと繰り返し述べられました。そう！ゼスチャーを交えてのミミズのはたらきの話も印象に残っています。考えてみれば、ごく当たり前の話をされているのだが、いつの間にか話に引き込まれ、聞き耳を立てて、そうそう、そうなんだよなーと納得しながらうなずいている自分が可笑しくなり、周りを見てもみなさん、話に相槌を打つかのようにうんうんと頭を振ってありました。

思えば50年近く花と緑にかかわってきましたが、このような講演を聴く度に何か心に響くものがありいつも楽しんでいます。今度はどなたの話に耳を傾けようかなー。





事務局からのお知らせ

◆ 園芸福祉の庭 定例作業のお知らせ

(注：2月は21日15時に変更です)

◎毎月、最終日曜日の10時から実施しております。

場所は、アイランドシティ中央公園（福岡市東区香椎照葉4丁目）園芸福祉の庭です。
花壇の維持管理、花の植栽や除草、灌水などの手入れ作業を2時間程度実施しています。
作業の後は、お茶を飲みながら和やかな時を共有し、花の育て方や土づくりのことなど、日ごろの疑問に実践者が応えてくれるプチ勉強会の場にもなります。

あなたも一歩踏み出して！ 「園芸福祉の庭」の定例作業に参加してみませんか。

会話も弾み、笑顔がいっぱいで、とっても楽しいですよー♪

◆ 定例会のご案内

(注：2月は21日13時アイランドシティ中央公園に変更です)

◎園芸福祉ふくおかネットでは、毎月第3土曜日15時から2時間程度

福岡市ボランティアセンターあすみんで定例会を開催しております。

会員相互の情報や意見の交換、活動報告、作品の紹介、質問など役立つことがいっぱいです。

定例会が終わってからの交流会は、本音が飛び交い、味わい深く、楽しいひと時です。

◆ あなたも活動紹介をしませんか？

◎個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸福祉の活動をお知らせ下さい。

◎メールやお手紙に写真を添えて、事務局までお送りください。

● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

- 〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25
- TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)
- E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp